

特別展

文学と絵

2025.12.7〈日〉

2026.2.15〈日〉

吉備路文学館の「吉備路」とは、岡山県全域（備前・備中・美作）と、広島県東部（備後）の地域を古くから呼称した言葉です。吉備路文学館では、1986年秋の開館以来、この吉備路ゆかりの文学者に関する資料を収蔵してきました。

本展示では、これら収蔵資料の中から、「文学と絵」をテーマに資料を選び、展示紹介いたします。文学と絵が一体となった様々な作品を、どうぞゆっくりお楽しみください。

交通のご案内



▼JRでお越しの方

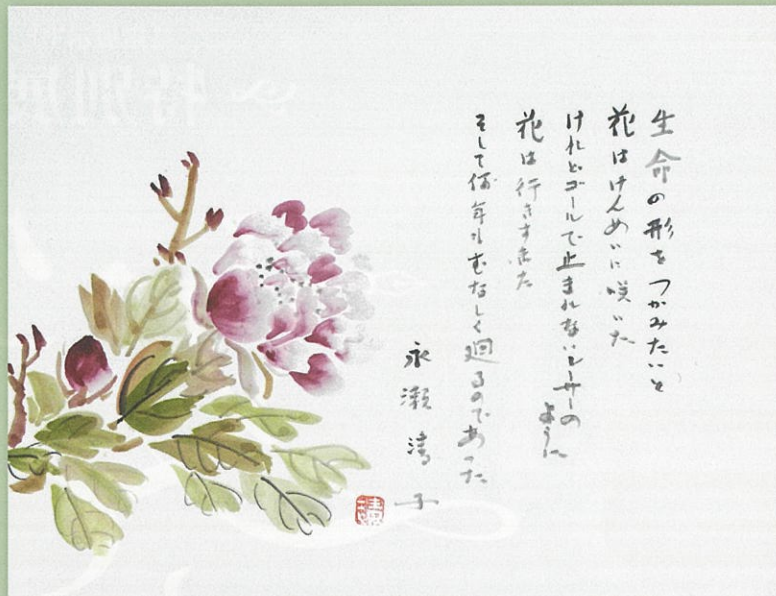
岡山駅より徒歩15分、タクシー3分

▼バスでお越しの方

岡電バス（妙善寺・三野公園）行、または宇野バス（美作方面）行で「南方交番前」下車徒歩3分

▼お車でお越しの方

文学館前の道路は午前東行・午後西行の一方通行です。



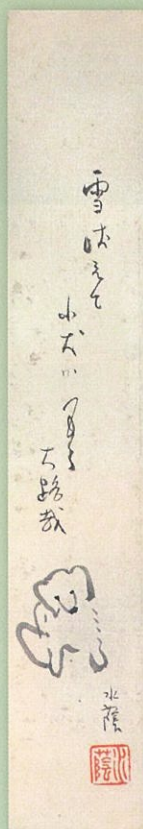
詩と絵

永瀬清子



『繪入小唄集 三味線草』（新潮社／1915年）

竹久夢二著・装幀



俳句と絵

短冊／江見水蔭



短歌と絵

掛軸／歌・与謝野晶子、絵・正宗得三郎